

認知症ケア論	4 年・後期	1 単位 15 時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121004

1. 授業のねらい・概要

超高齢社会を迎え、認知症高齢者が益々多くなっている。認知症のある人の言動には、健常者が推察できにくい状況や思いがある。認知症と認知症のある人の理解を深め、認知症のある人の尊厳をまもる支援のあり方を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 認知症の基礎的知識が理解できる。(D-2)
2. 認知症のある人の心理的特徴や生活上の困難を理解することができる。(D-2)
3. 認知症のある人と家族への支援方法について、考えることができる。(D-2)
4. 認知症のある人と家族の諸問題や支援について自分の考えを表現することができる。(D-3)

3. 授業の進め方

講義は認知症の基礎的知識や行動心理症状（BPSD）、認知症の人と家族の支援について行なう。事例を基に認知症高齢者および家族への支援について考え、理解を深める。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	老化の理解	講義	予習：テキストの「認知症とは」の部分 を事前に読む 復習：「高齢者の生きてきた背景と認知 症」について授業内容を振り返る	石久保雅浩
2	認知症の基礎知識	講義	予習：テキストの「中核症状」と「行動・ 心理症状」を読む 復習：「中核症状と行動・心理症状の具 体的な症状」について授業内容を振り返 る	石久保
3	認知症ある人の心理的特徴	講義	予習：テキストの「パーソンセンタード ケア」を読む 復習：「認知症の人の世界を理解してい く」について授業内容を振り返る	石久保
4	認知症を取り巻く環境	講義	予習：中核症状と行動・心理症状につい て具体的にまとめておく 復習：鑑賞した DVD を元に、実際にあっ た中核症状と行動・心理症状をレポート にまとめる	石久保
5	認知症のある人の基本的なケア	講義	予習：テキストを参考にして、「アルツ ハイマー型認知症」や、その他の認知症 の症状と経過の違いを確認しておく 復習：アルツハイマー型認知症の特徴的	石久保

			な認知症状に対するケアについて授業内容を振り返る	
6	認知症にある人の日常生活に応じたケア	講義	予習：テキストの「各論」編の部分を事前に読む 復習：日常生活中に出現する症状に応じた対処法について授業内容を振り返る	石久保
7	認知症のある人および家族のケア	講義	予習：テキストの「介護者への支援」を事前に読んでおく 復習：介護者の支援方法や、QOL や健康について、授業内容を振り返る	石久保
8	まとめ・試験	講義 試験	認知症についての要点を振り返り、具体的なイメージをまとめる	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）100%で評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第3版 快一徹!脳活性化リハビリテーションで

進行を防ごう 協同医書出版社 2016

参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して望むこと。

毎回、授業計画の学修課題に沿って、予習最低60分以上、復習最低60分以上取り組んで受講すること。

8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して予習して臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は試験後口頭等でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。